

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 4 月 22 日

岩手県知事 達増 拓也 殿

提出者

住 所 岩手県九戸郡洋野町大野23-53-3

氏 名 坂川 敬一

電話番号 0194-77-2220

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	坂川ファーム1
事業場の所在地	岩手県九戸郡洋野町大野23-61-4
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

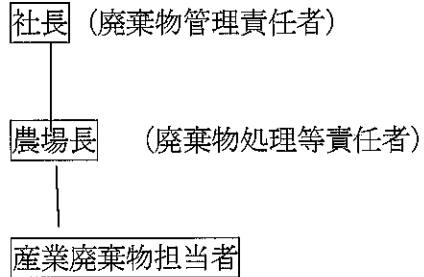
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	養豚業
②事業の規模	母豚数200頭
③従業員数	4人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>ふん — 発酵処理（委託） — たい肥化（委託） — 売却（委託）</p> <p>尿 — 廃水処理（委託） — RO膜処理（委託） — 蒸散処理（委託）</p> <p> 活性汚泥法</p> <p> 廃水処理（自己） — 処理水 — 再生利用（洗浄）</p>

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	2,460 t	t
	(これまでに実施した取組) ふんに水分が入らないように管理 尿に固形物が入らないように管理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	排出量	2,500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,500 t	t
	(これまでに実施した取組) 浄化槽を設置し、処理水を洗浄に再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿（尿）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,500 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記事項の継続		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 予定なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2021年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	960 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	960 t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 委託基準に従い、適切に処理されるように定期的に処理状況を確認している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	全 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	定期的な処理状況確認の継続		
※事務処理欄			